

## 熊本県支部

### 「熊本県における道の駅に関する調査研究」

最近、国道や県道でよく目にする「道の駅」の現状について調査し、その課題と提言をまとめることで、各道の駅の経営に役立たせて欲しいと考えた。そのため、提言に重きを置いた内容となっている。主な内容は、以下のとおりである。

#### 1. 道の駅とは

モータリゼーションの進展に対し、幹線道路では、道路利用者や地域の人々のための「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」を満たすため、全国的に多くの道の駅ができている。熊本県内においても、平成20年1月現在で18ヶ所の道の駅がある。

#### 2. 調査対象駅

熊本県内道の駅のうち、15ヶ所について4人の担当者を割り振った。担当者は、事前に送付した質問票に基づき、現地を直接訪問して施設を見学すると同時に、責任者へヒアリングを行った。それを各自が、道の駅ごとに現状・課題・提言の3項目にまとめた。各道の駅は、独自の課題を抱えており、それに応じてなるべく具体的な提言を行った。

#### 3. 熊本県内「道の駅」の活性化に向けた全体的視点での提言

##### (1) 予算内での施設整備対応

①高齢者、障害者に配慮した施設整備、②清掃の徹底、③駐車場の整備・拡張、④こまめな簡単リニューアルなどが求められる。

##### (2) 魅力ある商品の欠如や商品マンネリ化への対応

①地元JA等との連携強化による商品開発、②商工会等と提携した品揃えの強化、③他の道の駅や物産館と連携した品揃え、④地元住民を巻き込んだ幅広い人材活用などが求められる。

##### (3) 生産者の高齢化により懸念される、地元農産物・農産物加工品の安定供給への対応

①地元JA、行政と連携した農業後継者育成への参加協力の強化、②農産物加工品に関して、作り方伝承、③生産組合との供給体制の強化などが求められる。

##### (4) 安定した売上確保に向けた外販等への取組強化

①食関連イベントへの積極的参加、②直販する飲食店の開拓、③購入顧客への販売強化など

##### (5) さらなる地域密着及び交流の促進

①子供から高齢者まで、地域生活者を巻き込んだ関係作り、②域外利用者との交流促進など

##### (6) スタッフの意識、能力向上への取組強化

①存在意義、経営理念等の全スタッフへの浸透・徹底、②スタッフの知識の向上、③接客マナーの向上、④やる気を引き出す仕組み作りなど